



IBM Systems

**IBM Director ハードウェア管理コンソール extension
リリース情報**

バージョン 5.10 アップデート 3





IBM Systems

**IBM Director ハードウェア管理コンソール extension
リリース情報**

バージョン 5.10 アップデート 3

IBM 発行のマニュアルに関する情報のページ

<http://www.ibm.com/jp/manuals/>

こちらから、日本語版および英語版のオンライン・ライブラリーをご利用いただけます。また、マニュアルに関するご意見やご感想を、上記ページよりお送りください。今後の参考にさせていただきます。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： IBM Systems
IBM Director Hardware Management Console extension
Release Notes
Version 5.10 Update 3

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2006.9

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2006. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2006

目次

第 1 章 このリリースについて	1	第 3 章 既知の制限、問題、および回避策	9
このリリースの新機能	1		
第 2 章 のインストールおよびアップグレードの情報.	3	付録 A. カスタマー・サポートへの連絡	11
ハードウェア管理コンソール extension を Linux サー バーにインストール	5	サポートを依頼する前に	11
ハードウェア管理コンソール extension を Windows サーバーにインストール	5	資料の使用	11
ハードウェア管理コンソール extension を Linuxコン ソールにインストール	6	ヘルプおよび情報を WWW から入手する	12
ハードウェア管理コンソール extension を Windows コンソールにインストール.	7	ソフトウェアのサービスとサポート	12
		付録 B. 特記事項および商標	15
		特記事項	15
		商標	16

第 1 章 このリリースについて

本書には、IBM® Director ハードウェア管理コンソール extension バージョン 5.10 アップデート 3 のリリース情報が記載されています。

これらのリリース情報に対する更新および本書のコピーについては、www.ibm.com/servers/eserver/xseries/systems_management/ibm_director/ で検索できます。

このリリースの新機能

IBM Director ハードウェア管理コンソール extension (HMC extension) バージョン 5.10 アップデート 3 を使用すると、IBM System i5 および System p5 の各種モデルのハードウェア管理コンソールによって管理されるサーバーやハードウェア・リソースを表示し、電源制御を行ない、さらに管理ツールを起動することができます。HMC extension の使用により、ハードウェア管理コンソール管理タスク (例えば、インフォメーション・センターとセットアップ・ウィザードへのアクセス、サービス・フォーカル・ポイントでの問題の診断、ハードウェア管理コンソールの構成、サーバーとフレームの管理、ハードウェア管理コンソールまたはオペレーティング・システムのコードの更新、ユーザーの管理など) を実行することができます。

IBM Director ですべての HMC extension タスクを使用するためには、HMC extension バージョン 5.10 アップデート 3 にハードウェア管理コンソールバージョン 5 リリース 2.0 が必要です。

第 2 章 のインストールおよびアップグレードの情報

ハードウェア管理コンソール extension を入手し、インストールしてください。

IBM Director で使用可能なハードウェア管理コンソール extension の機能をすべて使用するためには、IBM Director ハードウェア管理コンソール extension バージョン 5.10 アップデート 1 とハードウェア管理コンソール バージョン 5 リリース 2.0 を一緒に使用する必要があります。

ハードウェア管理コンソール extension は、下記の管理サーバーおよび管理コンソール上の IBM Director サーバーおよび IBM Director コンソールに自動的に導入されます。

- AIX®
- i5/OS®
- System p™ 上の Linux®
- Linux on POWER™

これらのシステムでは、ハードウェア管理コンソール extension のインストールとアップグレードを別々に行う必要はありません。IBM Director サーバーおよび IBM Director コンソールがバージョン 5.10 アップデート 1 にアップグレードされるときに、ハードウェア管理コンソール extension も同様にアップグレードされるからです。

ハードウェア管理コンソール extension は、System x™ 上の Linux または Windows® が稼働している管理サーバーおよび管理コンソールにもインストールすることができます。これらのシステムのいずれかにハードウェア管理コンソール extension をインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ハードウェア管理コンソール extension をダウンロードします。

注: System x 上の Linux または Windows 用のハードウェア管理コンソール extension バージョン 5.10 アップデート 1 のインストール・パッケージとアップグレード・パッケージをすべてダウンロードします。この extension のバージョンは CD-ROM あるいはその他の物理メディアで入手することはできません。

- a. IBM Director ダウンロード Web サイト
(www.ibm.com/servers/eserver/xseries/systems_management/xseries_sm/dwnl.html) にナビゲートします。
- b. ドロップダウン・リストから「**IBM Director 5.10 for xSeries and BladeCenter**」を選択して、要求された情報を入力し、「**Submit**」をクリックします。
- c. 「Current version」の見出しの下の「**IBM Director 5.10 Update 1**」リンクをクリックします。

d. ダウンロードするパッケージのリンクをクリックします。

コンポーネント	パッケージ・ファイル名
Windows 用 IBM Director ハードウェア管理 コンソール・サーバー extension バージョン 5.10 アップデート 1	dir5.10.1_hmcserver_windows.exe
Windows 用 IBM Director ハードウェア管理 コンソール・コンソール extension バージョ ン 5.10 アップデート 1	dir5.10.1_hmcconsole_windows.exe
Linux 用 IBM Director ハードウェア管理コ ンソール・サーバー extension バージョン 5.10 アップデート 1	dir5.10.1_hmcserver_linux.tar
Linux 用 IBM Director 管理ハードウェア管 理コンソール・コンソール extension バージ ョン 5.10 アップデート 1	dir5.10.1_hmcconsole_linux.tar

2. 管理サーバーにハードウェア管理コンソール extension をインストールします。

オプション	説明
Linux サーバー	5 ページの『ハードウェア管理コンソール extension を Linux サーバーにインストー ル』
Windows サーバー	5 ページの『ハードウェア管理コンソール extension を Windows サーバーにインストー ル』

3. オプション: リモート管理コンソールにハードウェア管理コンソール extension をインストールします。

オプション	説明
Linux コンソール	6 ページの『ハードウェア管理コンソール extension を Linuxコンソールにインストー ル』
Windows コンソール	7 ページの『ハードウェア管理コンソール extension を Windows コンソールにインスト ール』

注: IBM Director コンソール用 ハードウェア管理コンソール extension のユー
ザー・インターフェース・コンポーネントは、ハードウェア管理コンソール
extension のサーバー・コンポーネントがインストールされるときに、自動的
に管理サーバーにインストールされます。必ずしも必要ではありませんが、
個別に ハードウェア管理コンソール extension のユーザー・インターフェ
ース・コンポーネントを管理サーバーにインストールすることも可能です。

ハードウェア管理コンソール extension を Linux サーバーにインストール

ハードウェア管理コンソール extension は、IBM Director サーバー バージョン 5.10 以降がインストールされた、System x 上の Linux が稼働している管理サーバーにのみインストールできます。

ハードウェア管理コンソール extension を Linux 管理サーバーにインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ダウンロードしたインストール・ファイルを、インストールを実行するマシンの一時ディレクトリーにコピーします。ダウンロードしたインストール・ファイルは、tar ファイルに入っています。tar -x コマンドを使用して、内容を一時ディレクトリーに展開します。

2. IBM Director サーバーを停止します。 コマンド・プロンプトで次のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。

```
/opt/ibm/director/bin/twgstop
```

3. インストール・パッケージが置かれているディレクトリーに移動します。 次のコマンドを入力して **Enter** を押してください。

```
cd /download/
```

download は、ダウンロード・パッケージを保管した場所を表します。

4. 次のいずれかのコマンドを入力して **Enter** を押してください。

インストール・シナリオ	コマンド
新規インストールの実行	<code>rpm -ivh dir5.10.1_hmcserver_linux.rpm</code>
前のバージョンからアップグレード	<code>rpm -Uvh dir5.10.1_hmcserver_linux.rpm</code>

インストールの進行状況が表示されます。

5. IBM Director サーバーを再始動します。 コマンド・プロンプトで次のコマンドを入力し、**Enter** キーを押します。

```
/opt/ibm/director/bin/twgstart
```

管理サーバーに IBM Director ハードウェア管理コンソール extension をインストールすると、ハードウェア管理コンソール extension のサーバー・コンポーネントとコンソール・コンポーネントの両方が管理サーバーにインストールされます。

ハードウェア管理コンソール extension を Windows サーバーにインストール

ハードウェア管理コンソール extension は、IBM Director サーバー バージョン 5.10 以降がインストールされた管理サーバーにのみインストールできます。

ハードウェア管理コンソール extension を Windows 管理サーバーにインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ダウンロードしたインストール・ファイルを、インストールを実行するマシンの一時ディレクトリーにコピーします。

- すべてのアプリケーション (コマンド・プロンプト・ウィンドウも含む) を終了します。
- 「スタート」 → 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 「ファイル名を指定して実行」ダイアログで、次のコマンドを「名前」フィールドに入力し、**Enter** を押します。

```
download%dir5.10_hmcserver_windows.exe
```

`download` は、ハードウェア管理コンソール extension のダウンロード・パッケージを保管した場所を表します。

- IBM Director サーバー の HMC extension の InstallShield ウィザードのの最初のページで、「次へ」をクリックします。
- 「使用条件の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 「次へ」をクリックします。
- 「インストール」をクリックします。新しいページがオープンし、インストールの進行状況が表示されます。
- インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

ハードウェア管理コンソール extension のサーバー・コンポーネントをインストールした後、コンソール・コンポーネントをいずれかのリモート管理コンソールにインストールする必要があります。

ハードウェア管理コンソール extension を Linuxコンソールにインストール

管理サーバーに IBM Director ハードウェア管理コンソール extension をインストールすると、ハードウェア管理コンソール extension のサーバー・コンポーネントとコンソール・コンポーネントの両方が管理サーバーにインストールされます。したがって、IBM Director サーバーがインストールされていないリモート管理コンソールのみハードウェア管理コンソール extension のコンソール・コンポーネントをインストールする必要があります。

注: IBM Director コンソールにインストールされているハードウェア管理コンソール extension のバージョンは必ず、IBM Director サーバーにインストールされている extension と同じバージョンにします。片方をアップグレードするときは他方もアップグレードする必要があります。

ハードウェア管理コンソール extension は、ハードウェア管理コンソール extension のコンソール・コンポーネントをインストールする前に、管理サーバーにインストールしておく必要があります。

ハードウェア管理コンソール extension を Linux 管理コンソールにインストールするには、以下の手順に従ってください。

- ダウンロードしたインストール・ファイルを、インストールを実行するマシンの一時ディレクトリーにコピーします。ダウンロードしたインストール・ファイルは、tar ファイルに入っています。tar -x コマンドを使用して、内容を一時ディレクトリーに展開します。
- IBM Director コンソールをクローズします。

3. インストール・パッケージが置かれているディレクトリーに移動します。次のコマンドを入力して **Enter** を押してください。

```
cd /download/
```

download は、ダウンロード・パッケージを保管した場所を表します。

4. 次のいずれかのコマンドを入力して **Enter** を押してください。

インストール・シナリオ	コマンド
新規インストールの実行	<code>rpm -ivh dir5.10.1_hmconsole_linux.rpm</code>
前のバージョンからアップグレード	<code>rpm -Uvh dir5.10.1_hmconsole_linux.rpm</code>

インストールの進行状況が表示されます。

5. IBM Director コンソールを再始動します。

ハードウェア管理コンソール extension を Windows コンソールにインストール

管理サーバーに IBM Director ハードウェア管理コンソール extension をインストールすると、ハードウェア管理コンソール extension のサーバー・コンポーネントとコンソール・コンポーネントの両方が管理サーバーにインストールされます。したがって、IBM Director サーバーがインストールされていないリモート管理コンソールのみハードウェア管理コンソール extension のコンソール・コンポーネントをインストールする必要があります。

注: IBM Director コンソールにインストールされているハードウェア管理コンソール extension のバージョンは必ず、IBM Director サーバーにインストールされている extension と同じバージョンにします。片方をアップグレードするときは他方もアップグレードする必要があります。

ハードウェア管理コンソール extension は、ハードウェア管理コンソール extension のコンソール・コンポーネントをインストールする前に、管理サーバーにインストールしておく必要があります。

ハードウェア管理コンソール extension を Windows 管理コンソールにインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ダウンロードしたインストール・ファイルを、インストールを実行するマシンの一時ディレクトリーにコピーします。
2. すべてのアプリケーション (コマンド・プロンプト・ウィンドウも含む) を終了します。
3. 「スタート」 → 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
4. 「ファイル名を指定して実行」ダイアログで、次のコマンドを「名前」フィールドに入力し、**Enter**を押してください。

```
download%dir5.10_hmconsole_windows.exe
```

download は、ハードウェア管理コンソール extension のダウンロード・パッケージを保管した場所を表します。

5. IBM Director コンソール の HMC extension の InstallShield の最初のページで、「次へ」をクリックします。
6. 「使用条件の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。
7. 「次へ」をクリックします。
8. 「インストール」をクリックします。新しいページがオープンし、インストールの進行状況が表示されます。
9. インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

第 3 章 既知の制限、問題、および回避策

ここでは、IBM Director ハードウェア管理コンソール extension バージョン 5.10 アップデート 3 を使用する場合の既知の制限、問題、および回避策について説明します。

IBM Director の「製品情報」ウィンドウに表示されるハードウェア管理コンソールのバージョンが 5.10 であり、正しくない。

バージョン番号は 5.10.3 と表示されなければなりません。

中央電子処理装置 (CEC) の管理対象オブジェクトが複数のハードウェア管理コンソールに関連付けられており、それらのハードウェア管理コンソールの 1 つが利用不可である場合、そのオブジェクトからオープンされたハードウェア管理コンソールのコンソールが開始しない場合がある。

CEC 管理対象オブジェクトからハードウェア管理コンソールのコンソールを開始しようとする、ハードウェア管理コンソールに問題があることを示すエラー・メッセージが表示されます。

ハードウェア管理コンソールのコンソールは、CEC またはオフラインのハードウェア管理コンソールからではなく、オンラインのハードウェア管理コンソールの管理対象オブジェクトから開始してください。

付録 A. カスタマー・サポートへの連絡

ヘルプ、サービス、技術支援、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供している支援をご利用いただけます。ここでは、IBM および IBM 製品に関する追加情報を得るにはどうすればよいか、ご使用の System x または IntelliStation® システムで問題が発生した場合の対処方法、および、サービスが必要になった場合の連絡先について記載します。

サポートを依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムの電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用のシステムに付属の資料に記載のトラブルシューティング情報を参照するか、診断ツールを使用します。BladeCenter® および System x システムの診断ツールの説明は、「IBM System x ドキュメンテーション」CD の「*Problem Determination Service Guide*」に記載されています。IntelliStation の診断ツールの説明は、IBM Support Web サイトにある IntelliStation の「*Hardware Maintenance Manual*」を参照してください。
- IBM サポート Web サイト (www.ibm.com/support/us) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求してください。

多くの問題は、IBM のシステムやソフトウェアに付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。ご使用のシステムに付属の資料には、ユーザーが実行できる診断テストについても記載しています。ほとんどの BladeCenter、System x、IntelliStation システム、オペレーティング・システム、およびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM BladeCenter、System x、または IntelliStation システム、およびプリインストール・ソフトウェアに関する情報は、システムに付属の資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン・ブック、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けていま

す。これらのページにアクセスするには、www.ibm.com/support/us に進み、説明に従ってください。IBM 資料は、www.elink.ibm.com/public/applications/publications/cgi-bin/pbi.cgiで、「IBM Publications Ordering System」を使用して注文することもできます。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

ワールド・ワイド・ウェブ上の IBM Web サイトには、IBM BladeCenter、System x、および IntelliStation などの製品、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。

適用可能な製品情報については、次の Web アドレスにアクセスしてください。

IBM 製品	Web アドレス
BladeCenter 製品	www.ibm.com/servers/eserver/support/bladecenter/
IntelliStation ワークステーション	www.ibm.com/servers/intellistation/pro/already.html
System xサーバー	www.ibm.com/servers/eserver/support/xseries/index.html

ご使用の IBM 製品 (サポート対象のオプションを含む) に関するサービス情報は、www.ibm.com/support/us で入手できます。

IBM Director に関する情報は、www.ibm.com/developerworks/forums/dw_forum.jsp?forum=759&cat=53 の IBM Systems forum から入手できます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、IBM System x サーバー、IntelliStation ワークステーション、およびその他の製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話による援助を有料で受けることができます。

IBM ソフトウェア・メンテナンス (SWMA) を使用すると、IBM System i™ テクノロジー、System p サーバー、および System x の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話による援助または電子アシスタンスを有料で受けることができます。修正およびアップデートは、製品の保証の一環であり、製品ライセンスに含まれています。

IBM サービスおよびサブスクリプション (S&S) を使用すると、System z™ メインフレームの欠陥ソフトウェアの問題について、電話による援助または電子アシスタンスを有料で受けることができます。修正およびアップデートは、製品の保証の一環であり、製品ライセンスに含まれています。

注:

1. IBM ハードウェアに IBM Director サーバーをインストールして使用する場合は、BladeCenter および System x 用の Implementation Services ServicePac® を購入して、IBM Director サーバーに関するサービスおよびサポートを受けることができます。
2. IBM 以外のハードウェアに IBM Director サーバーをインストールして使用する場合は、IBM Director サーバーのライセンスを購入する必要があります。

す。ただし、このライセンスは、IBM Director サーバーのサービスおよびサポートを受ける権利を付与するものではありません。サービスおよびサポートは、サポート・ラインを通じて別途、購入することができます。また、System x および IBM x86 以外のシステム用サポート・ラインのプロアクティブ・サポート・オプションである Enhanced Technical Support (ETS) も購入できます。

使用する国または地域で、サポート・ラインがサポートする製品について詳しくは、www-935.ibm.com/services/jp/its/pdf/support/sllist.pdf をご覧ください。

サポート・ラインおよびその他の各種 IBM サービスについて詳しくは、www.ibm.com/jp/servers/eserver/xseries/service/xsupportline.shtml をご覧になるか、あるいは www.ibm.com/planetwide/ で、サポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

付録 B. 特記事項および商標

ここでは、特記事項と商標の情報を提供します。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 2004 439 本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交

換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
MW9A/050
5600 Cottle Road
San Jose, CA 95193
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

AIX
DS4000
eServer™
i5/OS
IBM
IntelliStation
POWER
System p
System x
xSeries®

Intel®、Itanium®、および Pentium® は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java™ およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows、および Windows NT® は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Red Hat およびすべての Red Hat ベースの商標とロゴは Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

SET は、SET Secure Electronic Transaction LLC の米国およびその他の国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。



Printed in Japan